

〔 名 前 〕 渡辺 俊太郎 (ワタナベ シュンタロウ)

〔 職 位 〕 教授

〔 保有学位 〕 博士 (心理学)

〔 担当科目 〕 総合基礎演習Ⅱ
(大学院科目) 教育心理学特論、臨床心理学研究Ⅰ、
臨床心理学研究Ⅱ、臨床心理学演習、論文指導

〔 専門分野 〕 心理学、臨床心理学

〔 学外活動 〕 大阪教育大学非常勤講師
城南学園中学校・高等学校教育相談員
日本心理学会会員
日本健康心理学会会員
日本カウンセリング学会会員
日本保育学会会員
日本乳幼児教育学会会員
日本保育ソーシャルワーク学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

◆ 著書

- ・ 渡辺俊太郎 (2008).
怒りの健康への影響－怒りは健康を害するのか－ 湯川進太郎 (編)
怒りの心理学－怒りとうまくつきあうための理論と方法－ 有斐閣 pp.75-94.
- ・ 大阪総合保育大学総合保育研究所子育て支援プロジェクト編著 渡辺俊太郎監修 (2015).
子育て支援のいまとこれから－大阪府下の保育所・幼稚園での実態調査から－ ふくろう
出版
- ・ 渡辺俊太郎 (2016).
認知行動療法 菊野春雄 (編)
乳幼児の発達臨床心理学－理論と現場をつなぐ－ 北大路書房 pp.201-215.
- ・ 渡辺俊太郎 (2019).
子どもの悩みを理解しようとするチカラ 古川聡 (編) 教育心理学をきわめる 10 のチカラ (改訂版) 福村出版 pp.149-164.

- ・ 渡辺俊太郎 (2024).
保護者及び地域の子育て実践力の向上に資する支援 立花直樹・丸目満弓・田邊哲雄・馬場幸子・渡辺俊太郎・灰谷和代(編) 子ども家庭支援論 ミネルヴァ書房 pp.45-54

◆ 論文

- ・ 渡辺俊太郎・小玉正博 (2001).
怒り感情の喚起・持続傾向の測定－新しい怒り尺度の作成と信頼性・妥当性の検討－ 健康心理学研究, **14**, 32-39.
- ・ Watanabe, S. & Kodama, M. (2002).
The role of anger lengthiness in the relationship between anger and physiological responses in Japanese college students. Japanese Health Psychology, **10**, 33-44.
- ・ 渡辺俊太郎 (2002).
心理療法における査定と見立ての重要性－赤面を訴えて来談した青年の事例を通して－ 筑波大学臨床心理学論集, **7**, 3-7.
- ・ 渡辺俊太郎・小玉正博 (2003).
怒り持続傾向を低減させ得る怒り対処－見返し対処行動に関する予備的検討－ 筑波大学臨床心理学論集, **18**, 31-42.
- ・ 渡辺俊太郎・小玉正博 (2004).
怒りと健康に関する研究の動向と今後の課題 － 筑波大学心理学研究, **27**, 83-97.
- ・ 渡辺俊太郎 (2004).
怒り感情が心身の健康に及ぼす影響に関する研究 － 筑波大学大学院心理学研究科博士論文
- ・ 渡辺俊太郎 (2007).
大学生の抱く怒りイメージと怒り持続傾向・怒り対処との関連－テキストマイニングによる怒りイメージに関する自由記述の分析－ 大阪総合保育大学紀要, 創刊号, 77-88.
- ・ 渡辺俊太郎・大方美香・栗山誠・要正子 (2009).
大学による地域子育て支援の試み－養育者を対象としたプログラムと子育て相談活動の実践－ 大阪総合保育大学紀要, **3**, 113-124.
- ・ 渡辺俊太郎・佐伯知子・森下規代子 (2010).
現場での学びを活かした保育士・教員の養成－全学年における年間インターンシップ実習の取組－ 大阪総合保育大学紀要, **4**, 157-172.
- ・ 渡辺俊太郎・馬場住子・楠本洋子 (2019).
支援が必要と考えられる保護者に対する保育者の取り組み－アンケート調査における成功事例、困難要因、今後必要な取り組み－ 大阪総合保育大学紀要, **13**, 25-35.